

奈良県感染症情報

平成 30 年 第 5 週(1 月 29 日～ 2 月 4 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

インフルエンザ警報発令中です！

今週の概要

- 病原体(ウイルス)検出情報(平成 30 年 1 月)

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

| 順位 | 疾患名 | 奈良県 | | | 北部 | 中部 | 南部 |
|----|------------|-------|---------|----|----|----|----|
| | | 定点当たり | (前週) | 増減 | | | |
| 1 | インフルエンザ | 45.37 | (47.81) | ↑ | ↑ | ↑ | ↑ |
| 2 | 感染性胃腸炎 | 4.68 | (5.71) | → | → | → | → |
| 3 | A群溶連菌咽頭炎 | 1.97 | (2.09) | ↗ | ↗ | → | ↑↑ |
| 4 | RS ウイルス感染症 | 0.41 | (0.68) | ↓ | ↓ | ↓ | ↓ |
| 5 | 突発性発しん | 0.26 | (0.38) | → | ↓ | ↑ | ↓ |

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

インフルエンザの流行警報発令中です。県内の全ての地域で警報開始基準値「30」を超えています。過去10年で最も患者数が多い状態が続いています。小児では5～6歳が最も多く、成人では40代が多くなっています。今後流行が拡大し、免疫力が弱い乳幼児や高齢者が感染すると、脳炎や肺炎を起こすなど重症化する事もありますので、乳幼児や高齢者のいる環境へは、持ち込まないようにすることが最重要となります。感染している方は近寄らないようにする事、感染してない方も持ち込まないように人混みを通ったら手洗いを心がけるなど、感染拡大予防を心がけてください。インフルエンザにはアルコール消毒剤が有効です。

◆ 病原体(ウイルス)検出情報(平成 30 年 1 月) ◆

* ウイルス分離同日での集計結果

| 検出病原体 | 北部 | 中部 | 南部 | その他 | 臨床診断名 |
|---------------------|----|----|----|-----|--|
| インフルエンザ AH1pdm09 | 1 | 2 | 2 | | インフルエンザ(5) |
| インフルエンザ AH3 | 3 | | | | インフルエンザ(3) |
| インフルエンザ B (山形系統) | 1 | 2 | 1 | | インフルエンザ(2)、 インフルエンザ疑(2) |
| RS | | 1 | | | 肺炎(1) |
| ライノ | 2 | 1 | 1 | | 手足口病・無菌性髄膜炎(1)*、無菌性髄膜炎(1)、発疹症(1)、感染性胃腸炎(1) |
| エコー 9 | | 1 | | | 発疹症(1) |
| エンテロ 71 | 1 | | | | 手足口病・無菌性髄膜炎(1)* |
| コクサッキー A10 | 1 | | | | 手足口病(1) |
| ノロ GII.4 | | 7 | | | 感染性胃腸炎(7) |
| A群ロタ G3 | | | 1 | | 感染性胃腸炎(1) |
| A群ロタ G9 | | 1 | | | 感染性胃腸炎(1) |
| 単純ヘルペス 1 | | 1 | | | ヘルペス口内炎(1) |
| 水痘・带状疱疹 | | 1 | | | 水痘疑い(1) |
| サイトメガロ | | 1 | | | ギランバレー症候群(1)** |
| ヒトヘルペス 6B | | 1 | | | ギランバレー症候群(1)** |

*、** 重複感染

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ H30 ▲ H29 □ H28 〰 過去10年平均

